

A列車で行こう

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

A

ジャズ・スタンダードの中で
最も人気の高い、この曲をギター1本で

CD
Track

08

「TAKE THE "A" TRAIN」 Words & Music by Billy Strayhorn
© 1941 by WARNER BROS. INC.
All rights reserved. Used by permission.
Publishing Rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION

デューク・エリントンの片腕と言われたビリー・ストレイホーンの作による、エリントン楽団のオープニング・テーマ。

特に **A** など、伴奏が開放弦で弾かれる部分は、メロディより伴奏部分がクッキリした音になってしまいがちなので、親指の指頭+爪でピッキングする時に指を多めに当てるようにして、やや丸い音にすると良い。

①この曲での最大の難関。まずリズムがヨレないよう気をつけること。そしてメロディが弦を移動する際、右手で前の弦を消音すること(左手の消音だけでは音を消しきれない場合が多い)。写真1～4を参考に。

②ここもメロディが跳躍するので、消音に注意。まず最初の2弦3fを弾く時点で直前の1弦開放を消音。これは2弦3fを押さえる左手人差指で1弦に触れてやる(写真5)。次の4弦4fを弾く時には2弦3fを消音。こちらは2弦3fを押弦した人差指をゆるめることで消音している。人差指を離すとプリングになり、2弦開放の音が鳴ってしまうことがあるのでNG(写真6)。

● 奏法ポイント ●

●写真1



1～2拍目表まで：2弦でメロディを弾いている。

●写真2



2拍目裏：1弦でメロディを弾いている。2弦は消音。

●写真3



3～4拍目表：3弦でメロディを弾いている。1弦は消音。

●写真4



4拍目裏：1弦でメロディを弾いている。3弦は消音。

●写真5



2弦を押さえる人差指で1弦に触れて消音。

●写真6



押弦した指をゆるめて、2弦3fを消音(離すとプリングになるのでNG)。

※太くなっている弦はピッキングする弦、○印は消音する指を示している。

Drop D Tuning (6th String=D) Capo=3f

A1 D

Daug

G **A** *h. h. p. p.* **D** **G** **Gm** **D**

A2 D **Daug** **G**

A *h. h. p. p.* **to D** **D7 (on C)** **GΔ7** **B** *h.*

GΔ7 **E7** *h.*

A (13 on E) **A7 (5)** *g.* **D.C.**

⊕ Coda **D** **G** **G7** **A** *h.* **D** **D7 (9)**